

発行日 令和3年2月1日

★ 福まちだより ★

ふれあい東月寒

【第34号】

発行 東月寒地区
福祉のまち推進センター

発行部数 8,100部

札幌市豊平区月寒東3条17丁目
東月寒まちづくりセンター内
Tel/Fax (011) 853-2913

福まち安否確認見守り活動について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、世の中全般が不自由な生活を強いられております。東月寒地区福まちもこの時期見守り活動をどのように対応すべきかを苦慮してまいりました。コロナウイルスを恐れて、見守り活動を中断することは出来ません。

孤独に耐えて不安な生活を営み続けることは避けなければと思い、見守り活動は電話対応で実施しました。従来より見守り訪問は頻繁に行っておりましたので、電話による安否確認のために費用も多額になることは覚悟のうえでした。

毎年、ふれあい交流事業は、10数回実施していたのは全てが密になる集まりを避けるため、ことごとく開催中止と成りました。

安否確認を含め、メッセージ、たより、お知らせ、等々、文書発信を多く実施しました。10年近く継続する中学校生徒さんとの年賀状交流事業も、学校の先生、生徒さん達のご好意、ご協力を頂き実施できました。有難うございました。

令和3年の過ごし方

令和3年を迎えて、どんな暮らし方、どんな生活が待っているのでしょうか。福まち運営委員会は、協議を重ね考えました。去年は頑張れ、頑張れを合い言葉に励ましつづけました。本年度も頑張れは必要ですが、多少のゆとりも必要と思います。

コロナ感染対策は絶対必要ですが、ご自身の体を動かし、ご自宅にある物を使って軽い体操などで健康面も考えてみてはどうでしょうか。先日、豊平区保健福祉課、区社協、介護予防センター、包括支援センターの方々にご相談しました。沢山の内容、参考資料をいただきました。又、俳句、川柳などご自分の作品発表会もどうだろうとの考えもいただきました。福まち事務局で考えをまとめお知らせいたします。

東月寒地区社会福祉協議会
会長 飯島 弘光

東月寒地区の皆様には福祉のまち推進センターに深いご理解とご協力を頂いております事に感謝申し上げます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の為、なにごとにも自粛自粛と我慢の年であったと思います。

福まち事業も、札幌市・各区社会福祉協議会と行政（札幌市）が地域ぐるみで互いに支え合う環境を整え「誰もが安心して暮らせる地域社会を築く」ことを目的に2つの基本目標を掲げ、住民相互の支え合い活動を推進しています。基本目標1. 地域住民の日常的な支え合い活動の推進（日常生活の延長上でできる範囲のことについて互いに温かい心配りをし合う）、基本目標2. ボランティアによる福祉サービスの推進（日常的な支え合い活動では解決できないニーズに対して、公的サービスと連携を取りつつ、市民ボランティアが行う福祉サービス活動を推進する）と福まちは、地域で支え合いを実践していく「事業実施部門」という役割になるのです。

令和3年度は早くコロナウイルスが終息してもらいたいものです。そしてみんなで支え合い、励まし合い、助け合いながら良い地域を作って行きたいと思っております。

東月寒地区福祉のまち推進センター
運営委員長 岩本 節子

福まち事務局より

会長、委員長のお話にもあった通り皆さんが楽しみにしていた行事がことごとく中止になり、本当に残念な想いです。

そんな中、下記の通り人が集まらないで済む事業のみ行うことが出来ました。

3月～6月：福まちに登録されている皆様への訪問活動が困難

になった為、電話による対応となりました。

7月より訪問再開しましたが、我々がウイルス

を配っては大変とインターホン越しや、ドアを開け不自然なほど距離を置いてマスク越しの会話となりました。

充分とは言えませんが皆様との繋がりを保つ事が出来たのではないかと思います。

11月中旬：会長の発案により「温泉の素、赤飯パック、野菜セット、マスク」をお届けしました。

僅かですが温泉と食事の香りを感じて頂けたでしょうか？

11月下旬：恒例の「ふれあい訪問」でトイレットペーパーをお届けしました。

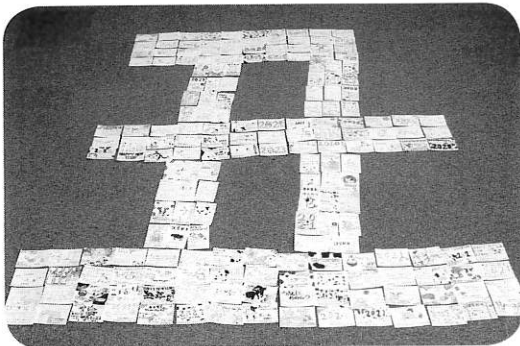
12月上旬：「ふれあい東月寒」特別号を発行しました。

残念な想いと励ましの声を感じて頂けたでしょうか。

12月中旬：東月寒中学校の生徒さんに年賀状を作成頂き、郵便局に投函しました。

又、「ふれあいキッズ」も全く開催出来ませんでした。想いは担当部長に譲ります。

事務局長 佐々木 俊明



「ふれあい入浴」中止残念

昨年9月9日、モエレ天然温泉に誘われ、初めての参加でした。たまゆらの杜は、他浴に見られない電気浴（ブラックシリカ）等、効能分類が多く、広々と綺麗な源泉に魅了され、大満足でした。今年も楽しみにしていましたが、2月5日の節分会の後、新型コロナウイルス感染症が徐々に感染拡大し、全てのイベントが中止となり残念です。

コロナ禍で自粛を強いられるなか、役員様には何かと声かけして頂き、感謝しています。ありがとうございました。

第一ブロック 対象者 中川 キシ子



昨年も各ブロックとも計画していた、バスでの遠出がコロナの影響で出来なくなりました。今年は、コロナが終息して、閉じこもり予防でバスでの外出が出来るよう、楽しみにしてください。

マスク、手洗い、忘れずに！

第二ブロック長 種村 久美子



ふれあい交流について

この一年、新型コロナ禍で明け暮れ忘れがたい大変な年になりました。いろいろな行事、スポーツ大会やコンサート等も殆ど中止。福まちのふれあい交流行事も中止。その代わりジャガイモや玉葱、お赤飯など沢山頂きました。一寸面倒な案件をかかえておりましたが事務手続きを5ヶ月かかって無事終え、ホッと一息、一人でお赤飯で祝いました。又、日本各地温泉地の浴剤、有名温泉に行った気分で楽しみました。昔、一時期、群馬県に住んだ事が有り、伊香保温泉は懐かしく思いました。



食材等詰め合わせ作業

年賀状は知人も少なくなったので、去年から止めましたが中学生の生徒さんから頂くと、やはり嬉しく今年も「元気で生きていこう」と勇気が出ます。スタッフの皆さんや推進員さんから電話やら訪問して頂き「私は孤独では無い、見守って下さる人が居るのだ」と心強く思っております。私にとっては他人ではなく信頼できる一番頼りになる存在だと勝手に思っています。この地域に住んで本当に良かった！

第三ブロック 対象者 浅野 幸子



コロナ禍の中で!!

今年の札幌雪まつりは中止になってしまいました。

振り返れば昨年の雪まつりが終了頃から「新型コロナウイルス」の流行に脅かされ、様々な情報に振り回された一年でした。

私達、福まちスタッフも日頃の活動が難しくなり、ふれあい訪問も電話に切り替えたり工夫をしながらの活動を強いられました。

その中で毎年実施してきた、近隣の中学生による年賀状の作製に例年より多くの生徒達から申し出があり、人と人との距離は離れても相手を想う気持ちを繋げようとしてくれた行動に暖かい気持ちと感動すら覚えました。

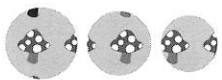


ふれあい訪問(トイレ紙)

今年はコロナの流行を恐れるばかりではなく、今、私達福まちが出来る事を国が示している「新しい、生活スタイル」を続けながらの模索の年になりそうです。

私は、皆さんが同じ方向を向いて動けば、新型コロナウイルスの終息は必ずあると信じています。一日も早く、マスクなしで訪問が出来る日を信じて!!

第四ブロック長 田中 郁代



ふれあいキッズ・コロナ禍で



ふれあいキッズは、2020年3月～2021年3月末まで子育てサロンが休止となりました。サロン活動を始めて17年、子供達とママ達の笑顔に元気を貰い楽しく活動して来ました。台風・インフルエンザ・2年前の大地震と2・3回休止になることはありましたが、今年のように1年以上の長期休止となることはありませんでした。改めて、新型コロナ感染症の社会活動への影響の大きさに驚いています。2021年度・子育てサロンは、4月再開を目指していますが、今のところ何時になるか分かりません。新北海道スタイルの中で、私達子育てスタッフが大切にしてきた、皆でふれあって笑顔・笑い声いっぱいサロン運営は難しくなりました。これからも地域の一員として、子供達・ママ達をいっぱい応援していきます。新型コロナ感染症の拡大防止対策が進み、又皆の笑顔に会える事を楽しみにしています。

ふれあいキッズ 中村

コロナ禍に見た「地域の思いやり」～福祉のまち推進活動センター活動～

東月寒にお住まいの皆様、いつもお世話になっております。お元気でしょうか。

コロナ禍において、見守りや集まる行事などが、区内のほとんどの地域で実施出来ない状況になり、寂しい気持ちになられている方もたくさんいらっしゃるかと思います。

そんな中、福祉のまち推進センターの事務局のみなさんは、「いつものように集まれないけど、つながりを大切に」という思いで、緊急事態宣言の時には、対象者へ福祉推進員の協力により「電話による見守り活動」にスタイルを変えて行いました。また、温泉ふれあい行事の代替えで、じゃがいも・たまねぎ・入浴剤などを届けるなど、コロナ対策を行いながら活動を続けています。

その背景には、福まち事務局に皆さんが月1回の会議を規模縮小で開催し、地域の方々を思い、活発な意見交換が行われている姿がそこにありました。

我々、区社会福祉協議会は毎回出席させていただき、活動に取り組む姿勢や福祉推進員さんの機動力に大変感銘を受けました。

これからも、正しくコロナを恐れ、対策を十分に取しながら、つながりや思いやりを大切に地域福祉活動に取り組む「東月寒地区福祉のまち推進センター」を微力ながら、応援させていただきたいと思います。

豊平区社会福祉協議会
豊平区民センター内
電話 011-815-2940

◆◆◆◆ 地域包括支援センターは高齢者の窓口です ◆◆◆◆

いつまでも自分らしく住み慣れた地域で暮らすために、保健医療、福祉の専門職が高齢者のみなさまにさまざまな悩みやご相談をお受けしています。相談をワンストップで受け止めて、必要なサービスへつなぐことのほか、介護予防、権利擁護事業、地域のネットワークづくりなどに取り組んでいる機関です。

こんなことに困っていませんか？

「介護保険を申請したいけど、役所の手続きがわからない」

「長い自粛期間で転びやすくなってしまって困っている」

「家族や近所で、心配なお年寄りがいるんだけど…」

「近ごろ、物忘れでお金の管理に自信がなくなってきた」

高齢者の健康や介護に関する疑問、お悩みなど、なんでもご相談ください。

- 地域包括支援センターは公的な相談機関です。
- 知り得た情報・秘密や厳守いたします。
- 自宅へお伺いしてご相談に応じています。
- お電話でもご相談をお受けいたします。

札幌市豊平区第2地域包括支援センター
札幌市豊平区西岡4条3丁目7-5
電話 011-836-6110

「介護予防センター」は、介護予防・健康づくりの窓口です

「介護予防」とは、介護が必要な状態にならないように予防することです。

当介護予防センターでは、東月寒地区にお住まいの高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気に過ごせるように、介護予防教室（愛称：すこやか倶楽部）を開催したり高齢者の集まりに出向いたりして、運動や体操、脳トレ、栄養や口腔の講話などを行っています。

今は新型コロナウイルスの影響から自宅で過ごすことが多くなっているため、閉じこもりや運動不足になり、体や心の元気がなくなることが心配です。自宅でできる介護予防もお伝えしていますので、興味のある方はお気軽にご相談ください。

札幌市豊平区介護予防センター東月寒・福住
札幌市豊平区月寒東3条18丁目20-18
電話 011-852-8830